

<全体分析>

試験時間	120	分
------	-----	---

<p>解答形式 記述式</p> <p>分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)</p> <p>出題の特徴 読解総合：内容説明，英文和訳 英作文：和文英訳，自由英作文 (意見論述型)</p> <p>入試改革を踏まえた出題 大問Ⅰの内容理解を踏まえた記述問題。 大問Ⅳの自由英作文。</p> <p>その他トピックス 読解問題においては，大問Ⅰが和訳問題のみ，大問Ⅱも和訳問題が大幅に増えた 2021 年度とは異なり，大問Ⅰ，大問Ⅱともに下線部和訳が 2 題，説明問題が 1 題という構成となった。自由英作文では 2021 年に出題された会話文下線部補充問題とは異なり，意見論述型問題が出題された。大問Ⅲは前年度と同じくオーソドックスな和文英訳問題。</p>

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	読解総合	「『人新世』 — 人間の支配が極限まで広がった地球環境」 (454words)	(1)問にある「本文中に列挙された具体的な特徴」は第 1 パラグラフ中に 6 つあり，その中から解答しやすいものを選ぶ。具体的には以下の通り。①人間が氷に覆われていない陸地の半分以上の姿を直接的に変え，その残りの半分を間接的に変えてしまった。②世界の主要河川の大半をダムでせき止め，その流れを変えた。③人間の作った化学肥料工場やマメ科の作物がすべての地球上の生態系を合わせたより多くの窒素を固定している。④飛行機や自動車や火力発電所の排出する二酸化炭素の量は火山の排出する二酸化炭素量を上回る。⑤人間の生物量は野生の全哺乳動物の生物量の 8 倍であり，人間に家畜を加えると残りの哺乳動物の 22 倍となり，魚を除く全脊椎動物の生物量を上回る。⑥人間は生物を絶滅に追いやる主たる存在であり，おそらく種を生み出す存在でもある。なお，要求されているのはあくまで the Anthropocene の説明であるので，下線部 (a) の直後の一文の内容を組み込むことが必要となる。 (2) Such VS ... that ... という構造を読み取ることがまず必要。blandly 「当たり障りなく」はあまり見かけない単語。the most recent 以下は独立分詞構文で，the most recent (S) being (V) ... という構造。sixty-six million years ago の手前のコンマに注意。 (3)第 1 文の If S be to do は「…しようというのであれ	標準

			<p>ば」の意味。第2文の Only now は「ただ、今」の意味。what's got to =what has got to= what has to。第2文の not と第3文の Instead との間に not ... but に近い関係がある。apart from the human は直前の exists および is imagined to exist のいずれも修飾。第3文では begins と spirals が並列関係にある。spirals back on itself は難しい表現。ダッシュの後は not so much A as B 「A というよりもむしろ B ; A ではなくて B」の形。人間の影響が地球環境にあまりに広範に及んでいるため、地球を何とかしようと「努力」するとその努力の矛先は必然的に人間自身に向くことになる、という内容を読み取る必要がある。</p> <p>出典 : Elizabeth Kolbert, <i>Under a White Sky: The Nature of the Future</i>, 2021.</p>	
II	読解総合	「情報と知識をめぐる諸相」 (595 words)	<p>(1) especially 以下の正確な訳出がポイント。those は the companies の代用であり、for whom の whom は those in ... social media を先行詞とする関係代名詞。細かい部分では、purely が commercial を修飾していることが明確になるように訳出すること。語句レベルでは、amplify ; adoption のほか、可算名詞として用いられた consideration の訳語に注意。</p> <p>(2) 下線部(b)の be drowning in A 「A の中で溺れている、A が有り余っている」や be starved of A 「A に飢えている、A が欠乏している」という表現、あるいは information ; knowledge という語に着目すれば、下線部の内容が具体的に説明されているのは、下線部(b)と同じパラグラフの第3文と最終文だと見当がつくだろう。ただし、最終文の内容は下線部(b)の意味に合わせて工夫してまとめる必要がある。</p> <p>(3) 1文目の構造については the problem と同格となる that 節が文末までであることがポイント。単語レベルではここでの against ; gain の意味に注意して訳出したい。なお、it は the knowledge ... online interactions を指している。2文目の前半は動名詞句が主語になっていることに注意して構造を把握したうえで、have O done を適切に訳出したい。なお、it は1文目と同じく the knowledge ... online interactions を指している。後半、but 以下の部分では、this が Having it destroyed を指していることに注意して訳出すること。なお、be to the detriment of A 「A の不利益になる」は難しい表現だが、文脈からその意味合いを推測することが求められている。</p> <p>出典 : Richard Ovenden, <i>Burning the Books: A History of the Deliberate Destruction of Knowledge</i>, 2020.</p>	標準

Ⅲ	英作文	「車窓からの眺め」	2019 年度以降、かなりの長文の英訳が求められており、2022 年度も 6 行に及ぶ和文英訳が出題された。書くべき英文の構造を決定すること自体は比較的容易であるが、「…もまた捨てがたい」「目の保養になる」「悩み事もどこか遠くに感じられ」「心がふっと軽くなる」などの部分では、日本文の意味を理解したうえで英訳することが求められている。	標準
Ⅳ	英作文	「大学で研究をするうえで最も重要なこと」	毎年出題形式の変わっている自由英作文問題であるが、2019 年度以来のテーマ論述形式の自由英作文が出題された。解答語数は 100 語前後で、2019 年度と同じ。ただし、2019 年度は長文読解問題中の出題であったのに対して、今年度は独立した出題である。「大学で研究をするうえで最も重要と考えること」を 1 つ挙げ、その理由を 2 つに絞って論じるものであるが、2 つの理由を挙げるのは実際に書いてみると思いのほか難しいのではないかと。	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

読解問題の内容説明問題では、該当箇所をどこまで正確に読むことができたか、そしてどこまでを解答に盛り込むかが問われる。該当箇所がほぼパラグラフ全体に及ぶ問いが出題されることもあるが、単なる要約問題ではなく、問題文の要件に合致する記述を抜き出す必要がある。今後とも下線部和訳と内容説明問題の融合型の出題となる可能性は高いので、和訳だけに偏らずバランスの取れた学習を心がけること。英作文では大問Ⅲは英訳問題が定着しつつある。過去問の英訳問題の練習を含め、各人の実力に合わせた演習を積む必要がある。自由英作文問題は、昨年度が会話文下線部補充問題、一昨年度が手紙の形式であったが、今年度は 2019 年度以来の意見論述型と、形式が固定されていない。さらに形式が変わる可能性は十分にあるので、形式にこだわらず、さまざまな形式の問題に触れ、実際に答案を作る演習をすることをすすめる。これまでの自由英作文の出題は「前後関係を見据えた上での書くべき内容の確定」「状況、人物関係に応じた表現の選択」が問われることが多いので、その点に留意して演習を積んでほしい。